

川崎市にお住い・お勤めのみなさまへ

第2回「復興都市づくり」講演会

～川崎市の都市のリスクと

復興への展望～

神戸市提供写真：阪神・淡路大震災による火災延焼状況

【講演会開催趣旨】

関東地方南部では、今後30年以内にマグニチュード7クラス以上の大地震が発生する切迫性が高いとされており、川崎市においても、建物の倒壊や火災延焼など、広範囲で大きな被害の発生が想定されています。震災により大きな被害を受けた場合、まちの復興・再建が必要となりますが、その際どのように復興を行うのか、東北大学防災科学国際研究所の村尾教授をお招きし、川崎市の都市リスクと復興への展望などについて御講演いただきます。

＜日時＞

令和元年11月28日（木）

14:30～16:00（14:00開場）

＜場所＞

川崎市中原区役所5階 501会議室

＜定員＞

250名（事前申込制・無料）

＜講演者＞



JR南武線・横須賀線 武蔵小杉駅 北改札（南武線口）から徒歩5分
東急東横線・目黒線 武蔵小杉駅 正面口から徒歩5分
※ 来場の際は、電車・バスを御利用ください。

東北大学災害科学国際研究所 村尾 修（むらお おさむ）教授



- 専門領域：都市防災、都市復興、防災空間計画、復興計画
- 川崎市都市計画審議会 防災都市計画のあり方検討小委員会 副委員長（平成24年10月～平成26年10月）
- 川崎市防災会議専門委員（川崎市防災対策検討委員会）（平成14年4月～）

○研究所では、防災性能という観点から都市を分析し、美しく快適な都市空間を創造することにより、社会に貢献できる人材の育成を目指して研究を進められているとともに「川崎市防災対策検討委員会」の委員の一人として、本市の防災行政全般について、様々な観点からご助言をいただいております。

＜申込方法＞

①住所 ②氏名 ③参加人数 ④連絡先を御記入の上、郵送・FAX・電子メールで、川崎市まちづくり局都市計画課までお申込みください。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

「復旧」と「復興」の違いとは？

災害が起きた際、はじめに応急対策、続いて復旧・復興対策を講じる必要がありますが、「復旧・復興」については、以下の様な考え方の違いがあります。

「元に帰る」という意味

「復旧」
「復興」

「古い」・「元の」という意味で、最低限もとの状態に戻すこと

「興す」という意味で、新しく創造しながらより良いまちに回復すること

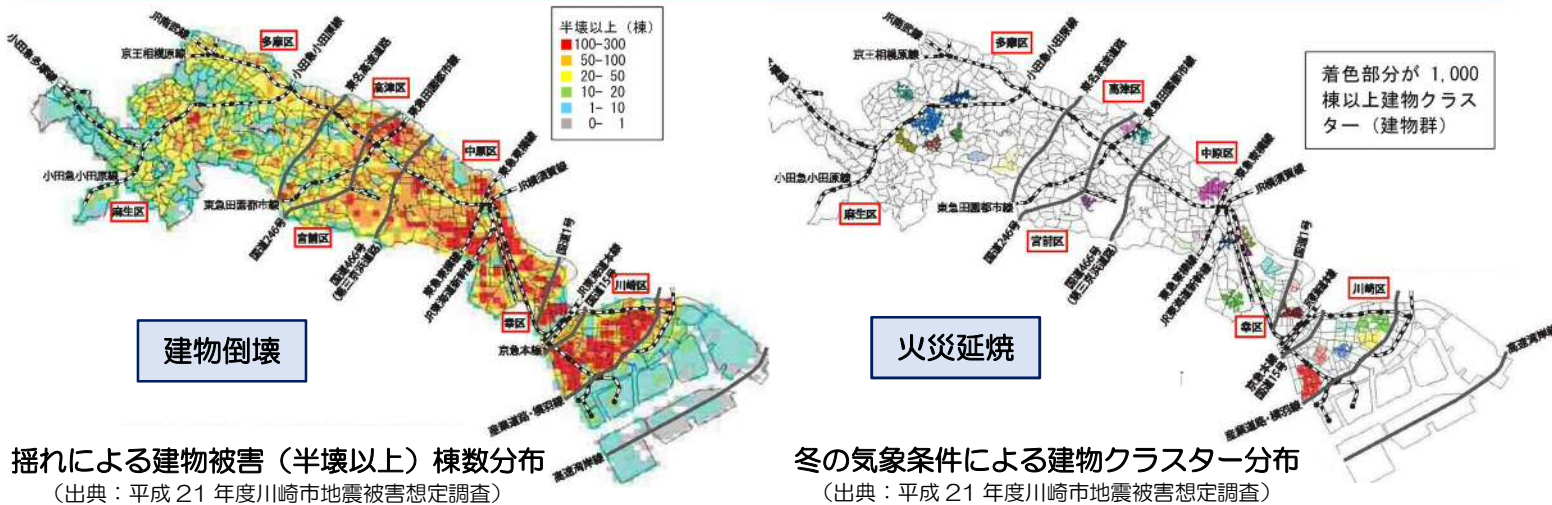
「復興都市づくり」の目標

被害を受けたとしても、質の高いすみやかな復興を可能とする都市を目指す

災害前の生活を回復するだけでなく、再び同じ様な被害を繰り返すことのない都市をすみやかに実現するためには、行政や市民、事業者などが協調し、共に知恵や意見を出し合い、地域の力を最大限に活かしながら復興に取り組む必要があります。

この様な都市の復興を可能とするためには、平時から復興の進め方などについて準備しておくことが重要となります。

川崎市直下型大地震による被害想定



第2回「復興都市づくり講演会」 申込書

【対象】どなたでも御参加いただけます。

【申込方法】郵送・FAX・電子メールで、下記の必要事項を御記入の上、お送りください。

※ 郵送・FAX の場合は、下記の必要事項を御記入の上、お送りください。

※ 電子メールの場合は件名を「復興都市づくり講演会参加申込み」とし、Eメールの本文に下記の必要事項を御記入の上、送信してください。

※ 定員を超え、御参加いただけない場合のみ御連絡いたします。

【申込期限】令和元年 11 月 22 日（金）まで

①住所	
②氏名（ふりがな）	③参加人数 人（申込者含む）
④連絡先（電話番号（必ず記入願います）・FAX 番号・Eメールアドレスの何れか）	

申込み先・問合せ先 〒210-8577 川崎市まちづくり局計画部都市計画課（郵便番号のみで届きます）
電話 044-200-2033 FAX 044-200-3969 E-mail:50tosike@city.kawasaki.jp